



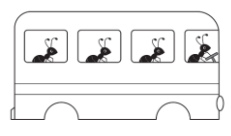
# 1歳児クラス 5月 第1回 「アリのおでかけ」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

## シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>保：ペープサートのバスを走らせながら「ブーブー僕達おでかけしてきます。」と登場。</li> <li>講：「アリさん、バスに乗ってどこに行くの？」等の会話と共に『おでかけ』に興味を高めて絵本へと繋げる。</li> </ul>	教材	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>★絵本</li> <li>★iPad(シアターセット ペープサート(バス))</li> </ul>	
読み方	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ペープサートを使用してバスの動きを見せる。</li> <li>②擬音を通して道の様子を感じられる様に表現しながら読む。</li> <li>③場面ごとの動物の特徴をとらえ、子ども達と一緒に「誰かな？」と推理を楽しみながら読み進める。</li> </ul>	保育士の役割	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 絵本持って登場</li> <li>• 子ども達と一緒にお話を楽しむ</li> </ul>	

## がくしゅうタイム

活動①	数	タイヤが無いことを理解して「2個」のタイヤをバスに貼ることができる	
設問	バスが走れるように、タイヤを「2個」貼りましょう		
活動内容	講	「アリさん、バスに乗っているところを走っていたね。」	教材
	保	「ブーブー」提示用バスプリントを持って登場。	
活動内容	保	「今日はどこに行こうかな。ブーブー 山が見えてきました」等と講師の頭の上を一度乗り越え、子ども達の視線を引きながら、子どもの前を走って一周し、再び講師の横へ到着。	P1 タイヤシール1人2枚 提示用プリント 提示用タイヤカード 2枚(弱両面テープ付) ※提示用プリントにタイヤを付けて完成させておく
	講	「ストップ!」「アリさん、ここは道路ではありません。先生の頭ですよ」	
活動内容	保	「ごめんなさい。皆さんも一緒にドライブいかがですか?」	保育士の役割
	講	「良いですね!」とプリントを受け取り、子ども達に見せるようにしっかり提示。その後「ちょっとまって…ハッ!ハッ!ハックション!!」と同時にタイヤを落とす。	
活動内容	「大変!!バスが壊れちゃったら走らないね、どうしよう」と子ども達に問いかけ、外れたタイヤ2個を数えて確認。どこに付けたら良いか、指ささせるなどして、子ども達にも考えさせながらバスに貼り直す見本を見せる。 ※提示用タイヤには弱両面テープが付いています。途中脱輪を繰り返したり、貼る場所の間違い行動を入れるなど、子どもの反応を見ながら、見せて行く。「これで大丈夫だね」と言いながら直したバスを「ブッブー」と走らせて見せる。「みんな一緒にドライブしようか?みんなのバスもありますか?」		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 提示用バスカード提示</li> <li>• 配布用バスカード提示、配布</li> <li>• タイヤシール提示・配布</li> <li>• 理解できない子のフォロー</li> <li>• 称賛</li> <li>• エレビ演奏</li> <li>• 必要に応じて環境整備、安全確認</li> </ul>
	保	「ありますよ!ブッブーガガガ」と言いながらプリント配布。	
活動内容	講	「みんなのバスにタイヤはあるかな?」と問い掛ける。	
	子	バスカードを受け取り、タイヤが無いことを確認。	
活動内容	保	「みんなのタイヤも外れてました」と配布するタイヤをトレーなどに並べて提示する。	
	講	提示用のプリントと比較させながら、タイヤを付ける場所を子ども達と確認。タイヤの場所を指さしながらタイヤの数を一緒に数えて「2個」無いことを確認させる。次に両手のひらを上向きに開いて見せ「タイヤ2個ください」とタイヤを受け取る見本行動。	
活動内容	保	講師の左右の手のひらに1つずつ「いち(右)・に(左)全部で2」としっかり数を確認しながら乗せ、渡していく。	
	講	「ありがとう」とタイヤを受け取る。「みんなもタイヤ2個貰ってバスを直せるかな」	
活動内容	保	数枚のタイヤカードを皿などに並べ入れ、一緒に「2」を数えながら配布していく。	
	子	見本同様、両手を広げてタイヤを受け取り、貼っていく(ゴミは皿の中)	
活動内容	講	完成したバスをみんなで見せ合い称賛。「ドライブスタート!ブーブー♪」とリズムに合わせてカードを動かしてドライブごっこを楽しみ、活動②へ進む。	

	※余裕があればエレビ演奏を入れて盛り上げる。 ※保育室の中を動いてドライブを楽しむ場合は環境の安全に配慮する。	
<b>活動②</b>	<b>描く</b>	リズムに合わせてごしごし色塗りやタッピングを楽しむことができる
<b>設問</b>	バスに色を塗りましょう	活動①と同じ
<b>つなぎ</b>	・講：「もっと素敵なバスにしようか？」とクレヨンを提示。	教材 活動①で完成したバスクレヨン
<b>活動内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講：子ども達が見えるように蓋を開けて後ろに重ね一連のクレヨンの準備(①腕まくり②「クレヨンぎゅ！」で持ち方提示③「片手はポン！」で反対の手で紙を押さえる)を見せた後、「スタート！ゴシゴシ！ギュッギュ！」バスに色を塗っていく。</li> <li>※ドライブから引き続いて、エレビの音に合わせて行くと、より楽しい。子ども達の意欲を高め、クレヨンを配布する。(2人に1箱程度)</li> <li>・子：講師と一緒にリズムに合わせて色塗りを楽しむ。(クレヨンの色は自由)</li> <li>・講：途中色を変えたり「雨が降ってきたよ、ポツポツ、ザーザー」等変化を楽しみ、頃合いをみて「ストップ！」の合図を出し「クレヨンさんまたね、おやすみなさい」と言いながら子ども達と一緒にクレヨンを箱に片付ける。</li> <li>・子：完成したバスを「出来ました！」と掲げて見せ合う。達成感を味わう。</li> <li>・講：称賛後「オーライオーライ！バスは駐車場に入ります」とカゴを提示し、バスカードを回収。「またドライブ行こうね！」と期待を持たせ、最後まで楽しく演出して活動を終了する。</li> </ul>	保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>・クレヨン配布</li> <li>・クレヨンの握り方、紙の押さえ方、クレヨンの色変え等状況に合わせて個別指導</li> <li>・エレビ演奏</li> <li>・称賛</li> <li>・クレヨン、カード回収</li> </ul>

<b>数チャレ</b>		教材
<b>設問</b>		
<b>内容</b>	※<活動①>を数にチャレンジとします	保育士の役割

### ■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	映像上でペープサートを動かしながら臨場感を出すことが出来たか
活動①数	両手を使用して「2」を理解させることが出来たか
活動②(描く)	色塗りの楽しさを子ども達に感じさせることが出来たか
数チャレ	活動①

**楽習タイム♪**

\*\*\* テーマ・スタート・ストップ \*\*\*

ドライブごっこ

**<ルール>**

①「スタート」「ストップ」の合図に合わせて動く・止まるを繰り返す。

②好きな歌(鼻歌♪だって大丈夫)の♪リズムに合わせて歩いたり、走ったり、動きの変化も楽しむ。

♪♪♪

スタート



♪♪♪

ストップ



※リズムの変化では「ゾウさん一緒に、のっしのっし(低速)」「ネズミさん一緒にちよちよちよ(高速)」などと表現するとリズムがイメージしやすいですよ。

スタート・ストップの合図に合わせて動くことは単純なようですが、この時期の子どもにとっては難しいこと。楽しみながら自己コントロール力を高めて行きましょう

**今月のえかきリズム**

\*\*\* あいのおさんぽ \*\*\*



えかきリズムの動画はこちら



楽習タイムの動画はこちら

